

2020 年 7 月 31 日

加盟団体 各位

(公社) 全日本アーチェリー連盟
競技部 津田 正弘
(公印省略)

公認競技会成績報告について

平素は本連盟の諸事業に対して格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、全ア連公認競技会の公認申請および成績報告の電子化に移行して1年が経過しましたが、成績報告において、不備により承認を出せない競技会が多数ありました。

下記の通り、代表的な例を挙げますので、加盟団体におかれましてはご確認の上、競技会運営の見直し、公認審判員の育成等に取り組んでいただければと存じます。

今後は承認されていない成績でのスターバッジ、全ア連主催競技会への申請等は認めないこともありますので、充分ご注意くださいよう、お願い申し上げます。

記

【公認競技会 未承認の例とその対応】

1. 競技役員が空欄である

⇒『公認競技会報告内容変更届』に別紙を添付して提出してください。事務局にて競技役員を入力します。

2. 必要な競技役員が配置されていない

⇒ターゲット競技会では競技委員長、DOS、審判長を必ずおいてください（競技規則 第103条1項）。

3. 競技役員が審判等級条件を満たしていない

⇒競技委員長は1級、DOS、審判長は2級以上、審判員は3級以上の公認審判員で構成してください（全ア連競技規則第103条1項）。

4. 一人が複数の競技役員を兼務している

⇒原則、競技委員長・審判長・DOSは兼務せず、1名ずつ配置してください。

5. 公認競技以外の記録が申請されている

⇒①30m18mラウンド・18m12mラウンド(80センチ6リング標的)

②30mダブルラウンド・18mダブルラウンド(80センチ標的)

③インドア18mラウンド80センチ標的

④インドア18mラウンド80センチ6リング標的

上記は公認記録とは認められませんので、『公認競技会報告内容変更届』に別紙を添付して、成績の削除依頼をしてください。

6. フィールドで24標的の成績が入力されている

⇒フィールドはマーク12標的を1試合として申請してください。

以上